

「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」の検証

基本の方針 1 目指す姿 1～4

はじめに

■本部会の位置づけ（第1回発展会議でご説明済み）

世田谷区地域経済の持続可能な発展を目指す会議規則第6条に基づき、条例における4つの基本方針ごとに地域経済の持続可能な発展を目指す会議検証部会を設けています。本部会においては、各施策の進捗状況をもとに、主にロジックモデルを用いて議論いたします。

■本日の流れ

(1) 「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」の検証手順を事務局からご説明します

(2) 実際のロジックモデルを基にご議論いただきます

なお、必ずしも（1）でご説明する検証手順に沿う必要はありません。各委員の独自の視点より、区内産業の活性化、産業の引継ぎの観点から忌憚のないご意見をお聞かせください。

■本部会で扱うロジックモデル 目指す姿1～4

「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」の検証手順

1. 行動指標の確認

- 「行動指標」とは、「行動変容に対して寄与のある施策」と定義されている（別冊_「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」のP1より）
- 「支援数」や「情報発信」等、能動的な指標となっているか確認

2. 論理（道筋）の確認

- (1) で設定した「行動指標」が変化の状況である「短期アウトカム等」につながる（論理の飛躍がないか）か確認

3. 指標の確認

- 変化の状況である「短期アウトカム等」が評価できる指標になっているか確認

4. データ収集方法の確認

- データの収集方法として適切なものか確認

5. 全体の流れを確認

- (1) ~ (4) を踏まえ、全体の流れを確認

1. 行動指標の確認

行動指標の確認

→「行動指標」とは、「行動変容に対して寄与のある施策」と定義されている
(別冊_「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」のP1より)

→施策とあるため、「支援数」や「対話回数」など能動的な指標となっているか確認

指標	横断的	指標名
行動指標	1	商店街団体の活動の支援数
	2	住工共生に関する対話回数
	3	体験農園の参加者数
	4	区民に向けた建設業に関する情報発信の回数

目指すべき姿 1 より抜粋

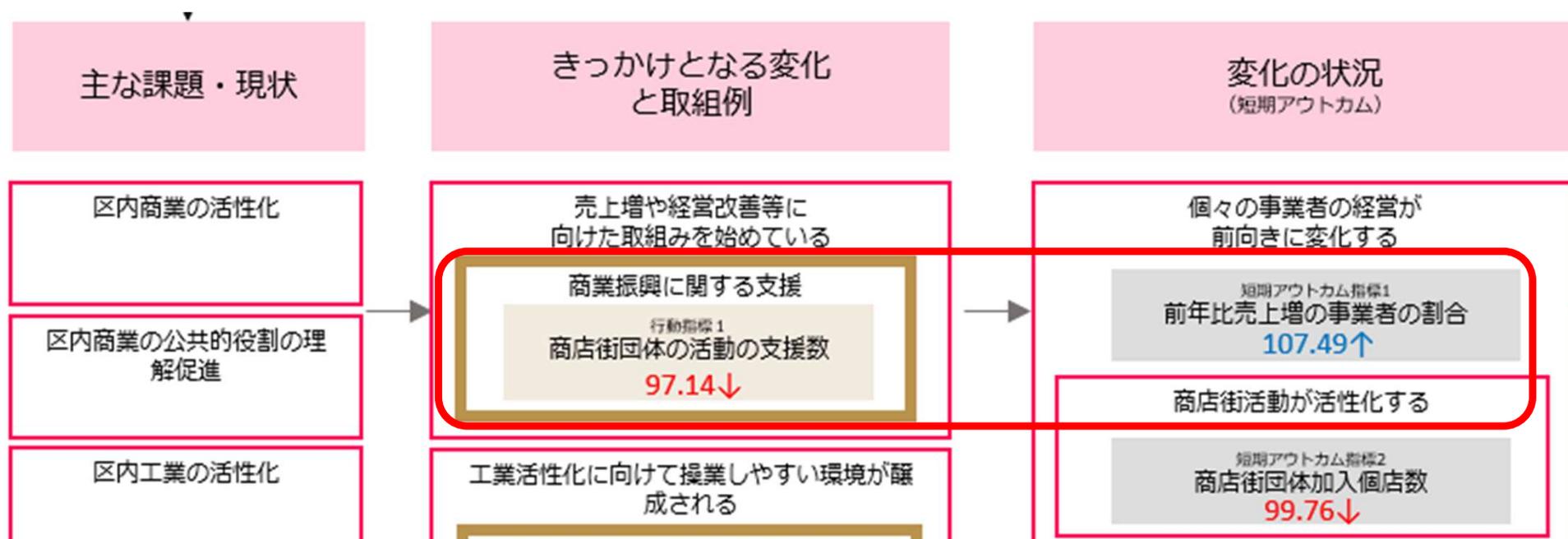
○行動指標 3 の「体験農園の参加者数」については
受動的な指標のため、行動変容に対して寄与のある施策としては適切ではない
例えば、「各種農業体験事業の実施」を行動指標としてはどうか。

なお、「各種農業体験事業の実施」はアクションプランに掲載されている。

2. 論理（道筋）の確認

論理（道筋）の確認

→（1）で設定した「行動指標」が変化の状況である「短期アウトカム等」につながる（論理の飛躍がないか）か確認



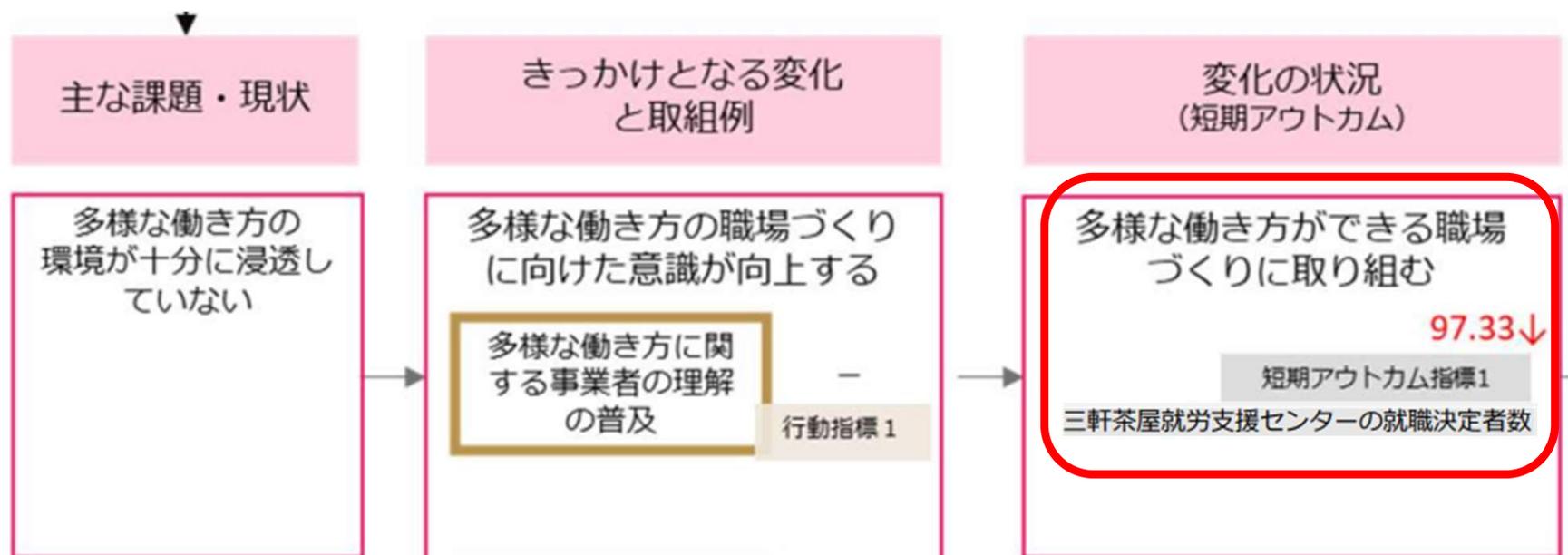
目指すべき姿1より抜粋

○行動指標1「商店街団体の活動の支援数」が短期アウトカム指標1「前年比売上増の事業の割合」につながるだろうか
商店街を支援するのみでは、**事業全体の売上増となる可能性は低く**
例えば、商店街の前年比売上増の割合にしてはどうか。

3. 指標の確認

指標の確認

→ 変化の状況である（短期アウトカム等）が評価できる指標になっているか確認



目指すべき姿 5 より抜粋

○変化の状況（短期アウトカム）として、

「多様な働き方ができる職場づくりに取り組む」を設定しているが
その指標は「三軒茶屋就労支援センターの就職決定者数」となっている。

単純に就職決定者数では、多様な働き方ができる職場づくりに取り組む状況を捉えることはできないのではないだろうか。

別の指標を設定する必要があるのではないか。

4. データ収集方法の確認

データ収集方法の確認

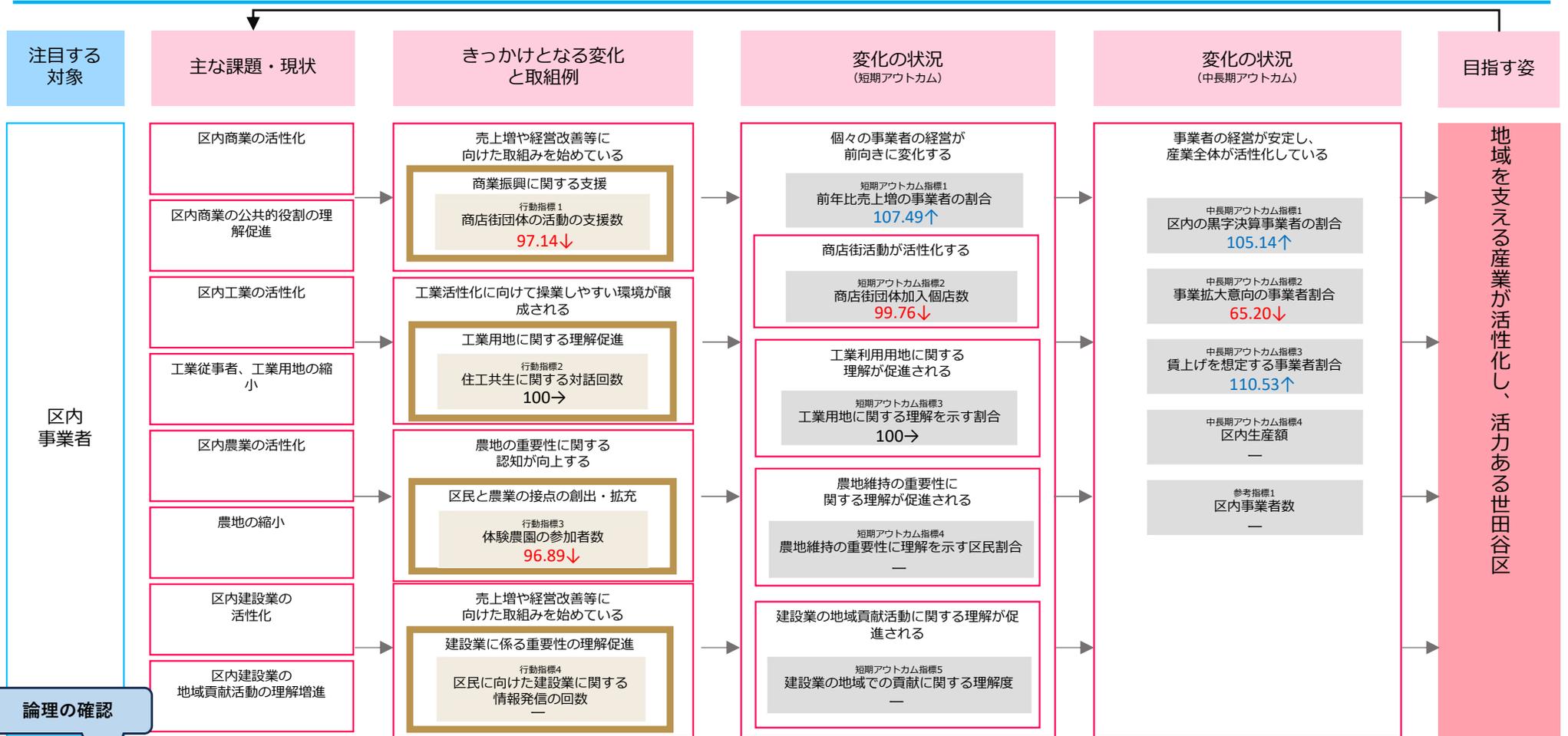
→データ収集方法として適切なのか確認

指標	横断的	指標名	データの収集方法
行動指標	1	経営相談の受付件数	総合経営相談の中の特定創業以外の件数と経営
	2	産業情報の発信回数	メルマガでの配信数
	3	生産性向上支援件数	先端設備等導入計画の認定件数(変更は除く)
	4	区内企業と求職者のマッチング事業のイベント開催数	委託事業実績報告書
短期アウトカム指標	1	○ セーフティネットの申請件数	公社からの実績報告より
	2	○ 融資あっせん件数	融資あっせんの各月別集計データ
	3	区による産業情報発信の受信者数	メルマガ登録者数
	4	○ 区内企業と求職者のマッチング就職決定者数	委託事業実績報告書

目指す姿2より抜粋

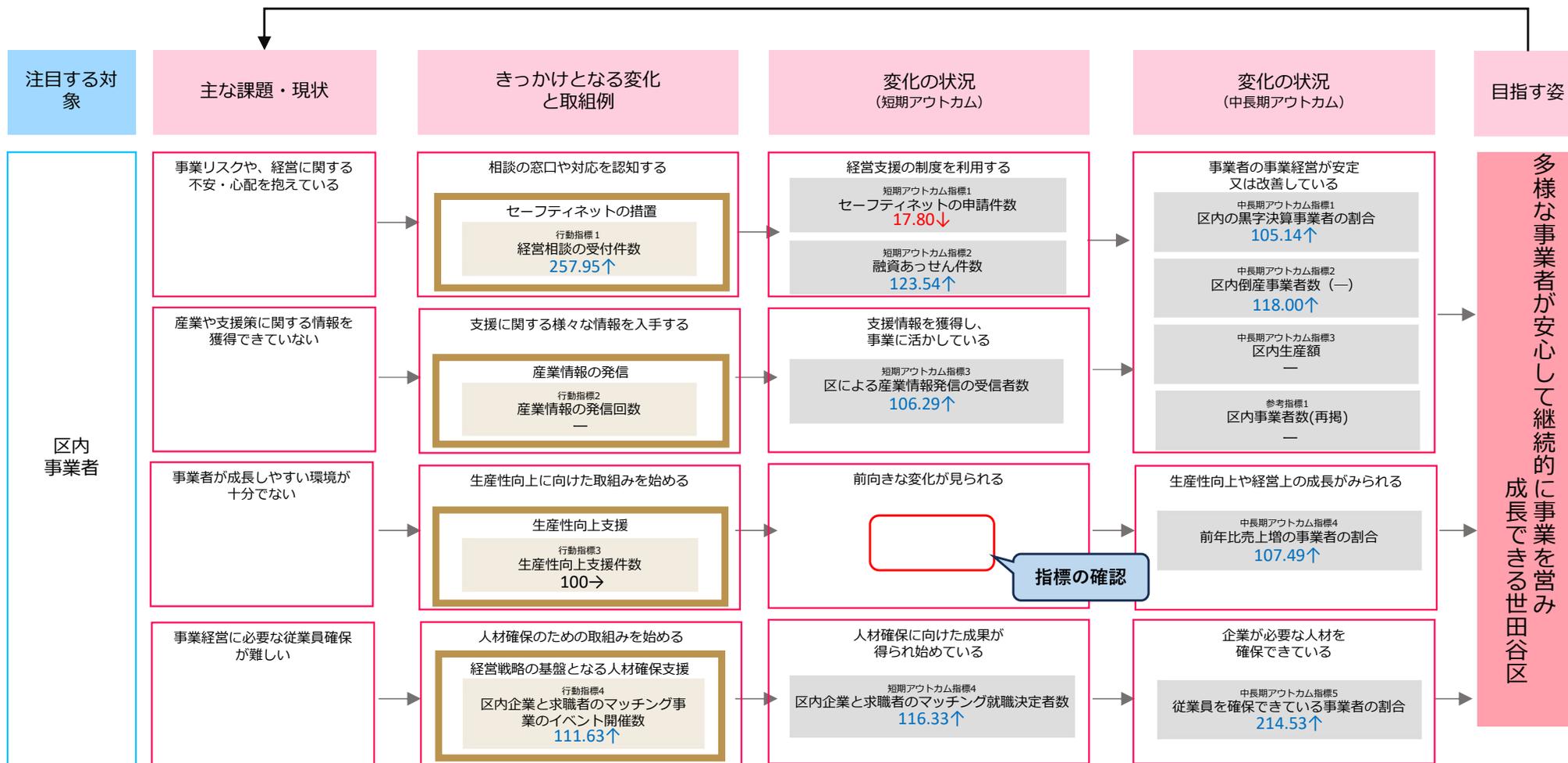
○短期アウトカム指標である「区による産業情報発信の受信者数」のデータの収集方法を「メルマガの登録者数」としているが
メルマガの登録者数 = メルマガの受信数とはならないため
 新たに「メルマガの開封数」などと設定すべきではないだろうか。

目指す姿 1 区内産業が活性化し、活力ある世田谷区



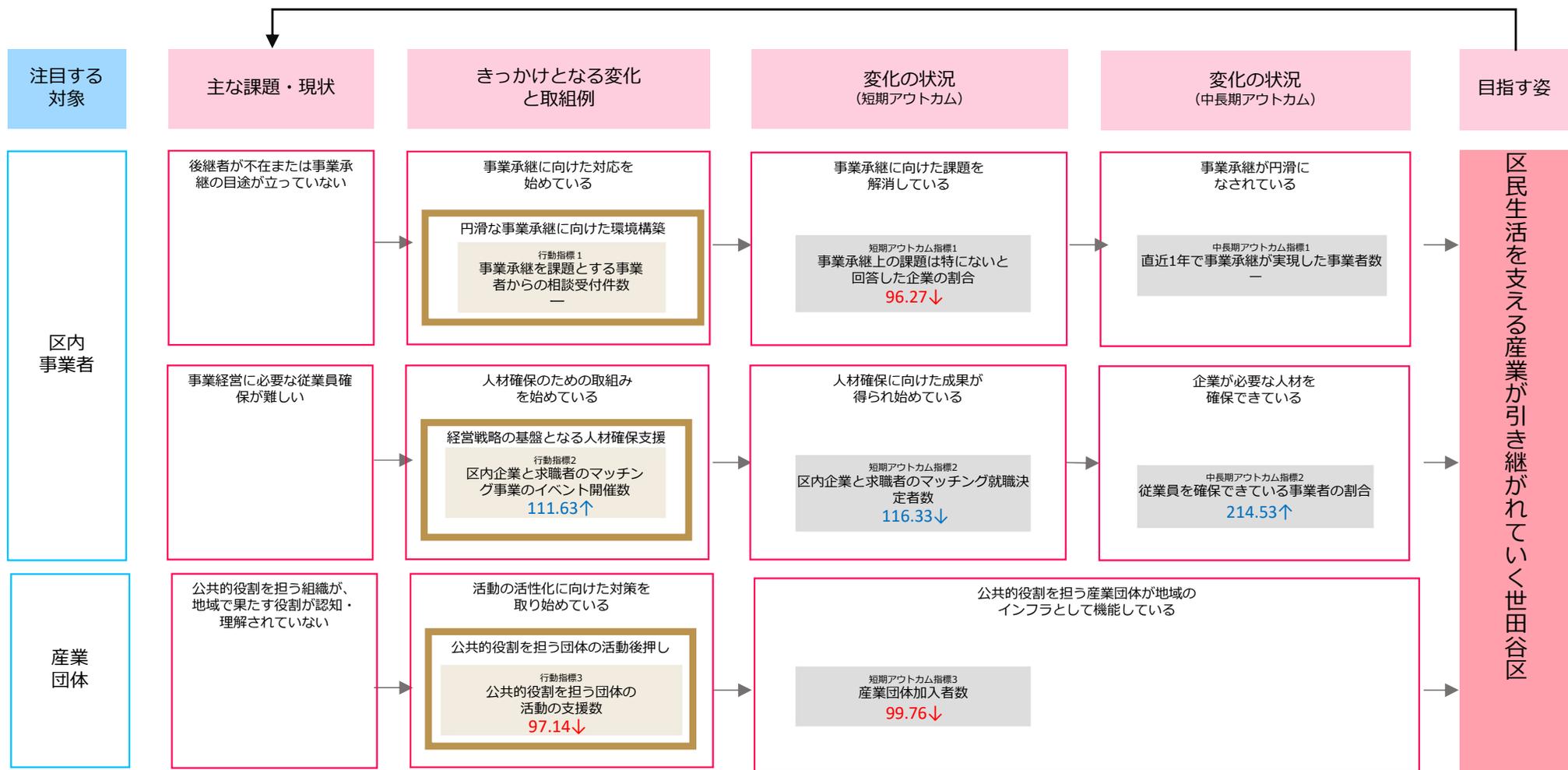
指標	横断的指標名	データの収集方法	基準値	令和6年度実数	指数
行動指標	1 商店街団体の活動の支援数	各種商店街補助事業を活用している商店街数	105	102	97.14
	2 住工共生に関する対話回数	ワーキング回数	3	3	100.00
	3 体験農園の参加者数	体験農園：園主からの実績報告（ふれあい農園事業）	31350	30375	96.89
	4 区民に向けた建設業に関する情報発信の回数	メルマガ	0	—	—
短期アウトカム指標	1 前年比売上増の事業者の割合	産業基礎調査。「前年度と比較して、直近決算の売上高はどのように変化していますか」（大幅増加・やや増加）の回答割合	18.7	20.1	107.49
	2 商店街団体加入個店数	商連の定時総会資料から商連（各商店街）の加入個店数（会費納入者）を確認する	6,684	6,668	99.76
	3 工業用地に関する理解を示す割合	住工共生イベント参加者へのアンケート	—	82	—
	4 農地維持の重要性に理解を示す区民割合	区民対象アンケート（区民意識調査の活用）（区民意識調査「区内の農地を残していくべきか」）	78	—	—
	5 建設業の地域での貢献に関する理解度	—	—	62	—
中長期アウトカム指標	1 ○ 区内の黒字決算事業者の割合	産業基礎調査「直近決算の経常損益について、該当するもの」（黒字）の回答割合	51	53.2	105.14
	2 ○ 事業拡大意向の事業者割合	産業基礎調査「今後の事業展開の方向性について、最も近いものはどれですか」（事業を拡大していく）の回答割合	20	13.3	65.20
	3 ○ 賃上げを想定する事業者割合	産業基礎調査「給与と改定で賃上げを実施しますか」（実施した/実施予定）の回答割合	38	42	110.53
参考指標	4 ○ 区内生産額	RESASから。所得への分配額。	44,946	—	—
	1 ○ 区内事業者数	令和3年経済センサス-活動調査（総務省統計局）による。	27,909	—	—

目指す姿 2 多様な事業者が安心して継続的に事業を営み成長できる世田谷区



指標	横断的	指標名	データの収集方法	基準値	令和6年度実数	指数
行動指標	1	経営相談の受付件数	総合経営相談の中の特定創業以外の件数と経営支援コーディネーターの件数の和 (産業振興公社)	176 件	454 件	257.95
	2	産業情報の発信回数	メルマガでの配信数	— 回	48 回	—
	3	生産性向上支援件数	先端設備等導入計画の認定件数(変更は除く)	4 件	4 件	100.00
	4	区内企業と求職者のマッチング事業のイベント開催数	委託事業実績報告書	43 回	48 回	111.63
短期アウトカム指標	1	セーフティネットの申請件数	会社からの実績報告より	472 件	84 件	17.80
	2	融資あっせん件数	融資あっせんの各月別集計データ	1580 件	1952 件	123.54
	3	区による産業情報発信の受信者数	メルマガ登録者数	3976 件	4226 件	106.29
	4	区内企業と求職者のマッチング就職決定者数	委託事業実績報告書	49 人	57 人	116.33
中長期アウトカム指標	1	区内の黒字決算事業者の割合	産業基礎調査「直近決算の経常損益について、該当するもの」(黒字)の回答割合	51 %	53.2 %	105.14
	2	区内倒産事業者数 (—)	東京都産業労働局「東京の企業倒産状況」((株)東京商工リサーチ調べ)より	50 件	59 件	118.00
	3	区内生産額	RESASから、第1次産業から第3次産業の額を合計する。	44,946 億円	— 億円	—
	4	前年比売上増の事業者の割合	産業基礎調査。「前年度と比較して、直近決算の売上高はどのように変化していますか」(大幅増加・やや増加)の回答割合	18.7 %	20.1 %	107.49
	5	従業員を確保できている事業者の割合	産業基礎調査。「貴社の従業員確保の状況はいかがですか」(十分確保できている・どちらかといえば確保できている・採用活動を行っていない)の回答割合	35 %	75.3 %	214.53
参考指標	1	区内事業者数	令和3年経済センサス-活動調査(総務省統計局)による。	27,909 事業所	— 事業所	—

目指す姿3 区民生活を支える産業が引き継がれていく世田谷区



指標	横断的	指標名	データの収集方法	基準値		令和6年度実数		指数
行動指標	1	事業承継を課題とする事業者からの相談受付件数	令和6年度新事業の事業承継プラットフォーム相談受付件数	—	→	6	—	—
	2	区内企業と求職者のマッチング事業のイベント開催数	委託事業実績報告書	43	回	48	回	111.63
	3	公共的役割を担う団体の活動の支援数	各種商店街補助事業を活用している商店街数	105	商店街	102	商店街	97.14
短期アウトカム指標	1	事業承継上の課題は特にないと回答した企業の割合	産業基礎調査。事業承継上の課題（特にない）の回答割合	24	%	23.2	%	96.27
	2	区内企業と求職者のマッチング就職決定者数	委託事業実績報告書	49	人	57	人	116.33
	3	産業団体加入者数	商連の定時総会資料から商連（各商店街）の加入個店数（会費納入者）	6684	人	6,668	人	99.76
中長期アウトカム指標	1	直近1年で事業承継が実現した事業者数	令和6年度新事業の事業承継プラットフォームのマッチング数	—	→	0	—	—
	2	従業員を確保できている事業者の割合	産業基礎調査。「貴社の採用活動における従業員確保の状況はいかがですか」（採用活動を行っており、十分確保できている・採用活動を行っており、どちらかといえば確保できている・採用活動を行っていない）の回答割合	35	%	75.3	%	214.53

行動指標の確認

指標の確認

データ収集方法の確認

目指す姿 4 意欲や思いのある人・事業者が積極的にチャレンジできる世田谷区



指標	横断的	指標名	データの収集方法	基準値		令和6年度実数		指数
				数値	単位	数値	単位	
行動指標	1	地域連携型/ハンズオン支援事業による支援事業者数	ハンズオン支援事業の実績より	73	事業者	42	事業者	57.53
	2	創業相談の実施回数	産業振興公社が行うワンストップ相談窓口及び創業セミナーの実施回数	452	回	66	回	14.60
	3	SETAGAYAPORTの会員登録数(累計)	SETAGAYA PORTの会員数	4500	人	6701	人	148.91
短期アウトカム指標	1	地域連携型ハンズオン支援により新規プロジェクトの事業を達成した事業者数	ハンズオン支援事業の実施状況	73	事業者	42	事業者	57.53
	2	起業・創業に関心を持つ区民の割合	世田谷区のまちなか観光及び社会経済に関する調査	18	%	—	%	—
	3	SETAGAYA PORTのプロジェクト・イベント参加者数	SETAGAYA PORTにおけるピッチイベントの来場者数(令和5年度はNEW WAVEの事前申込者数)	31	人	92	人	296.77
中長期アウトカム指標	1	地域連携型ハンズオン支援により売上好転事業者数	ハンズオン支援した事業者へのアンケート	71	事業者	42	事業者	59.15
	2	創業相談等利用者の創業者数	創業支援等事業を受講して創業した人数。	292	人	—	人	—
	3	SETAGAYA PORTを通して実現した連携事業数	SETAGAYA PORTの連携事業数	10	事業	15	事業	150.00

行動指標の確認

指標の確認

「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」の考え方

概略

- 本資料は、「世田谷区地域経済発展ビジョン」の「目指す姿」ごとに、その実現に向けた道筋を「ロジックモデル」として整理するとともに、指標を設定し、産業分野や地域経済への影響・波及を捉え、政策全体の達成状況を測定・評価することで見える化するものです。
- 具体的には、各ロジックモデルにおいて、「目指す姿」の実現に向けた道筋や変化を象徴的に示す事象に対して指標を設定（参照：ソーシャルインパクト指標一覧）、測定、評価するとともに、「ソーシャルインパクト指標」として、全体を総合的に捉えた指数「持続可能な地域経済の充実度」について目標値を示し、取組みを進めていきます。（インパクト測定・マネジメント）

※ソーシャルインパクト指標：事業や活動の結果として生じた社会的変化や社会的な効果を測定し、分かりやすく伝えるための指標。個々の取組みによる「対象」の「変化」を捉え、「対象」や社会にもたらされる便益や変化を捉えるべく設定。

指標

成果指標名	単位	現状値	中間目標値	最終目標値
		令和5年度	令和9年度	令和13年度
持続可能な地域経済の充実度※	ポイント	100	130	135

※「ソーシャルインパクト指標一覧」における「中長期アウトカム」から算出

指標の策定の考え方

- 「目指す姿」が実現した（又は実現に近づいている）状態がどのような状態かという観点から、特に重要または象徴的な事象や要素を抽出し、そこに至る変化の道筋を導出しています。あくまで「目指す姿」の実現度合いを象徴的に測定するものです。
- 「きっかけとなる変化と取組例」に記載の行動変容に対して寄与のある施策を「取組み例」及び「行動指標」として記載しています。また、「変化の状況（短期アウトカム）」は、個々の「注目する対象」がどう変化するか、「変化の状況（中長期アウトカム）」は、「注目する対象」を集合体として捉えた場合にどう変化するかという観点から設定しています。
- 社会経済情勢の変化は激しくスピードも速いため、その変化やニーズを踏まえた考え方の取り込みや新たな施策の構築等が今後ますます不可欠です。「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」においても、「世田谷区地域経済発展ビジョン」の方向性の下、運用しながらその考え方や指標の取り方を定期的に検証し、必要に応じた見直し・改善を図り、考え方や手法の確立に取り組んでいきます。
- なお、各ロジックモデルの「指標」のうち下線を引いている指標は、世田谷区基本計画及び実施計画において位置づけられている指標と同一のものを指しています。

イメージ

